

4月1日：投資家はリスク選好姿勢を強め、VN指数は1,500ポイントの節目を突破

投資家はリスク選好姿勢を強め、週末VN指数は心理的な節目である1,500ポイントを回復した。

ホーチミン市場のVN指数は1.63%（24.29ポイント）高の1,516.44ポイントで取引を終えた。

騰落別では330銘柄が上昇、125銘柄が下落した。出来高も前日比で少し増加し、売買高は9億6,767万株以上、売買代金は27兆ドン（12億米ドル）となった。

大型株、特に銀行、製造、不動産、小売セクターに投資家の買いが集まり、マーケットを押し上げた。VN30指数は2.25%（33.94ポイント）高の1,542.47ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち、29銘柄が上昇、1銘柄が下落した。

その中でもモバイル・ワールド・インベストメント（MWG）は+7%のストップ高を付け、マーケットの上昇を牽引した。他にもVPバンク（VPB）+3.76%、マサングループ（MSN）+3.02%、ノブランド不動産投資グループ（NVL）+3.12%、ベトナム投資開発銀行（BID）+1.95%が大きく上昇した。

ペトロベトナムガス（GAS）+1.29%、FPTグループ（FPT）+3.74%と公益、情報通信セクターの上昇もマーケットの上昇を支えた。

4日連続でストップ安だったFLCグループ（FLC）は本日ストップ安を回避した。終値は1.36%安の10,850ポイントで、同銘柄の出来高はこの日大きく増加した。

木曜日、FLCグループは逮捕されたTrinh Van Quyet氏に代わる新たな会長を指名した。同社の報告によると年次株主総会、取締役会で新たな決定が出されるまで3月31日よりFLC副会長のDang Tat Thang氏がFLCグループ、そしてバンブーエアウェイズの会長を務める。

「国内外で悪いニュースがある中で、ベトナム市場が引き続き堅調であることは特筆すべき点です」（サイゴンハノイ証券（SHS）のアナリスト）

また投資家はリスク選好を強め、ハノイ市場の HNX 指数も上昇した。同指数は 1%（4.48 ポイント）高の 454.1 ポイントで取引を終えた。同指数は直近 2 日間で 11.62 ポイント上昇していた。

売買高は 1 億 2,460 万株以上、売買代金は 3 兆 2,000 億ドンを超えた。

外国人投資家は引き続きホーチミン市場で 4,096 億ドンを買い越したが、その一方でハノイ市場では 33 億 9,000 万株を売り越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。